



FINESSE

株式会社フィネス

〒105-0004 東京都港区新橋4-27-2

Tel 03-5777-1468 Fax 03-5408-5827

E-mail : info@finesse-wine.co.jp

URL : http://www.finesse-wine.co.jp



2020年11月

ドメーヌ アラン マティアス

DOMAINE ALAIN MATHIAS

地所:ブルゴーニュ地方 トネロワ地区 エピヌイユ村

兵役を終えた後、1979年にシャブリで葡萄の収穫に参加したことで葡萄栽培家という職業を知り、その魅力に惹かれた現当主アラン マティアス氏は、1980年代初頭にシャブリ 近郊にあるトネロワ地区のエピヌイユ村に7haの葡萄畑を開墾。当時、彼のように小さい畑を持ってワイン造りに挑戦する人々が出始めた最中で、彼ら先駆者が1993年に「Bourgogne Epineuil (ブルゴーニュ エピヌイユ)」というアペラシオンが制定されるきっかけを作りました。素晴らしいワインを造るためにはマニュアル化せず常に考察すること、畑を観察して人の手を加えるのか自然の力に任せるのかを判断していくことが重要という哲学でワイン造りをしています。現在はディジョン大学で醸造学を修了した息子のバスチャン氏と同じく醸造学を学んだバスチャン氏の妻カロール女史もアラン氏の教えを受けながらドメーヌ運営に携わっています。

エピヌイユの他にシャブリにも4haの畑があり、所有する畑はピノ ノワールを中心に約11ha。この地区のワイン造りの先駆者として常に改良をしたいという精神から2000年にビオロジック農法を採用。2005年からは除草剤の使用を止めてすべての畑を耕作で除草しています。2013年ヴィンテージにブルゴーニュ エピヌイユとトネール、2015年ヴィンテージにシャブリとプティシャブリにそれぞれEcocert (エコセール) のビオロジック認証が下りました。収穫は手摘みで100%除梗、ワインに負担を掛けないためにポンプは使用せず瓶詰まで自社で行っています。



マティアス親子(左)と自宅兼醸造所(右)

● BOURGOGNE EPINEUIL EXPRESSION

ピノ ノワール種100%。樹齢は約30年で泥灰土とキンメリジャン土壌の「Froberts (フロベール)」という北西向きで北風が良く吹き、フレッシュさを与える区画の葡萄が主に使われます。アルコール醗酵までは他の赤ワインと同じ醸造方法で圧搾後のプレス果汁は使用せずにフリーランジュースのみでステンレスタンクで10～12ヵ月熟成、フィルターに掛けてから瓶詰します。色調は輝きのある真紅やルビー色、鼻腔をくすぐるような小さい赤や黒い果実のフレッシュな甘酸っぱい香り。ハツラツとした酸味と赤い果実を齧ったようなチャーミングな果実味でフルーティな仕上がり。土壌由来のミネラルも豊かで飲みやすい味わいです。

シャブリ

● CHABLIS

シャルドネ種100%。畑はシャブリ北西部のLignorelles (リノレル) 村に2.6haを所有。区画によって粘土質やキンメリジャンなど土壌の質が違いますが水はけが良い畑が多く、植えられている葡萄の木も樹齢5年ほどの若木から60年ほどの古木まで様々です。手摘みで収穫、選別された葡萄はすぐに空圧式圧搾機でプレスして低温で24時間掛けて不純物を沈殿させて除去。その後ステンレスタンクで1～2週間アルコール醗酵、そのまま澱上で6～10ヵ月間熟成させ、瓶詰前にフィルターとコラーージュを行います。火打石やスモーク香、白桃のようなアロマ、シャブリらしい鋭い酸味はなく、柔らかな口当たりでバランス良い味わいです。

プティ シャブリ

● PETIT CHABLIS

シャルドネ種100%。畑は上記シャブリから程近い場所に位置し、石がほとんど見られない保湿度の高い粘土質土壌で早熟な区画です。葡萄の木の樹齢は40～70年で0.56haを所有しています。醸造はシャブリ同様ステンレスタンクのみで行います。柑橘系果実や若い桃のアロマ、フレッシュで清涼感のある酸味豊かで細く綺麗にまとまった味わいになっています。



粘土質土壌の畑に植えられた古木

ブルゴーニュ トネール コート ド グリゼイ

● BOURGOGNE TONNERRE CÔTE DE GRISEY

シャルドネ種100%。2006年に新しく制定されたアペラシオンで畑の広さは約0.56ha、樹齢は30年でエピヌイユの「Côte de Grisey (コート ド グリゼイ)」の区画にピノ ノワールと一緒に植えられています。基本的な醸造方法は他の白ワインと同じですが、2014年まではステンレスタンクのみで醸造されていたのに対し、近年は檜樽も使用することでより肉厚で豊かな味わいに仕上げるようにしています。澄んだ黄色、アカシアの花のアロマ、リッチで柔らかくバランスの良いワインです。フランス国内でも需要が高いワインで、要望に応えるために同じく「Côte de Grisey (コート ド グリゼイ)」の区画に新たに1.5haの畑を開墾中です。